

(様式 3 : 全対象事業共通)

平成 30 年度第 2 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	水素導入可能性調査事業	
補助事業者名	六ヶ所村長 戸田 衛	
補助事業の概要	本村に集積する再生可能エネルギーを最大限活用し、「水素」を新たに導入することにより地域振興・産業振興・観光振興を促進し、魅力あるまちづくりを推進するための構想及び今後の展開、成果目標を検討する。そして、その第一段階として、村内の公共施設等への熱電供給等を行う実証モデルを検討する。	
総事業費	10,384,461 円	
補助金充当額	10,384,461 円	
定量的目標	具体的な定量的目標値については、今年度実施した水素導入可能性調査で検討するものとした。	
補助事業の成果及び評価	六ヶ所村の「生活環境の力」「安全・安心の力」「経済の力」を高め、新エネルギーのまちとしての「村の強み」を確立し、「安らぎと幸せを実感できるまち」の実現を目指すため、中長期的な視点から関連施策の方向性を検討し、水素利活用における村の姿勢を明らかにすることができた。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約(間接補助)の目的	本事業の実施に当たっては、専門的な知見を要するため。
	契約の方法	随意契約
	契約の相手方(間接補助先)	株式会社 三菱総合研究所
	契約金額(間接補助金額)	10,384,461 円
来年度以降の事業見通し	平成 31 年度 実施設計(予定) 平成 32 年度 実証導入(予定)	

(備考)

- (1) 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- (2) 補助事業の成果及び評価の欄には、(1) で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。

- (3) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- (4) 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。